

令和 6 年 6 月 26 日現在

機関番号：24302

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2023

課題番号：19K00688

研究課題名（和文）アメリカ英語の普及と英語の多様性の認識に20世紀映像メディアが与えた影響

研究課題名（英文）Influences of the 20th century visual media on the spread of American English and recognition of varieties

研究代表者

山口 美知代（Yamaguchi, Michiyo）

京都府立大学・文学部・教授

研究者番号：50259420

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,400,000円

研究成果の概要（和文）：アメリカ英語の普及と英語の多様性の認識に20世紀映像メディアが与えた影響について本研究では映像メディアとして映画を中心に研究を進めた。山口は単著『ハリウッド映画と英語の変化』（開拓社）を刊行し、ハリウッド映画における英語の変化について、発音・語彙・言語観の側面を中心に考察を行った。山口と小林は『World Englishes入門』（昭和堂）で英語の多様性について映像メディアの分析を行いながら「中華世界の英語」「カリブ海の英語」「韓国の英語」の章を執筆した。研究分担者渡辺宥泰は日本英語文化学会や日本ニュージーランド学会で発表を行い論文を著した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究結果では、アメリカ英語の世界的普及に大きな役割を果たしたアメリカ映画（ハリウッド映画）の英語について時代を追って変化を確認し概観した。これは従来の日本の英語研究で行われてこなかったもので、学術的意義がある。多様な英語が映画などの映像メディアで扱われていることについての論稿が研究成果として得られた。

研究成果の概要（英文）：The researchers have discussed influences of the 20th century visual media on the spread of American English and recognition of varieties from various viewpoints. Yamaguchi published a monograph, "Hollywood films and the change of English" (Kaitakusha) and summarized the 5 years of research mainly from lexical and stylistic point of view. Yamaguchi and Kobayashi contributed chapters to a book, "Introduction to World Englishes" (Showado) and discussed varieties of English in China, Taiwan, Hong Kong, Korea and Caribbean countries. Watanabe published a series of papers on Japanese accented English and also read papers on New Zealand English.

研究分野：英語学

キーワード：アメリカ英語 英語の多様性 世界諸英語

## 様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

研究代表者山口美知代は、2013 - 15 年度の科研費研究課題「世界諸英語に関する理解を深めるための映画英語研究」(本申請課題の研究分担者、小林めぐみ、出口菜摘も参加)および、2016 - 18 年度の科研費研究課題「英語に対する言語態度の東アジア比較研究 映像メディアの教育的活用」(本申請課題の研究分担者、小林めぐみ、渡辺宥泰も参加)を遂行するなかで、世界諸英語(World Englishes, WE)という概念に代表される英語の多様性が、映画のなかで表象されている様子の記述的研究およびその教育的応用について考察し、さらには、そうしたメディアにおける英語の多様性の表象がどのように取り上げられているかを調査・報告し、発表、論文、HP などを通して英語教育および社会言語学等の教材として提供してきた。

さらにはこうした英語の多様性の表象が、人々の言語観、言語態度を反映していると同時に、それらに影響を与えていることを考察してきた。この二つの先行研究課題はいずれも、英語教育の分野での研究課題であったが、教育的応用の前提として英語の多様性と映像メディアの影響関係が根底にあった。

一方で、東アジアの言語意識を調査するなかで、アメリカ英語へのあこがれが強いことがやはり明らかになった。これまで世界諸英語に焦点を当ててきたため、かえってアメリカ英語やイギリス英語そのものを主たる研究対象としてこなかったが、世界諸英語の研究を進展させるには、依然として世界的に求心力のあるアメリカ英語を再検証し、世界諸英語の様相と比較する意義がある。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、アメリカ英語(一般アメリカ英語、General American のことを本申請書ではこう呼ぶ)の普及と英語の多様性の認識に 20 世紀映像メディアが与えた影響を明らかにすることである。

### 研究の方法

アメリカ英語の普及と英語の多様性の認識は、映像メディアの発達によって音声情報、視覚情報が広範囲に伝わるようになった 20 世紀に、同時に進行した現象であった。中心的に扱うのは、1920 年代後半に有声映画(トーキー)が登場したことで、多様な英語の認知に大きな役割を果たすことになった映画と、1930 年代に実験的放送が開始されたテレビ放送である。焦点を絞るため、本研究では次の 4 つをサブテーマとして掲げて取り組む。

- (1) 有声映画(トーキー)の登場がアメリカ英語の普及と英語の多様性の認識に与えた影響
- (2) ニュース番組がアメリカ英語の普及と英語の多様性の認識に与えた影響
- (3) 映画に描かれる世界諸英語(World Englishes, WE)
- (4) 英語拡大圏(Expanding Circle)におけるアメリカ英語の普及と英語の多様性の認識

(1) から (4) の課題の考察から明らかにされる 20 世紀の映像メディアが英語に与えた影響が、英語の外面史にどう位置付けられるか、また、こうした研究が英語学史にどう位置付けられるかという考察も、本研究の最終的なアウトプットの一環とする。研究成果は、学会発表、学術論文、研究報告書、書籍、および一般向けシンポジウム(2020 年度開催予定)、学術シンポジウム(2022 年度開催予定)の形で公開する。

### 4. 研究成果

上記のサブテーマごとに述べる。

(1) 有声映画(トーキー)の登場がアメリカ英語の普及と英語の多様性の認識に与えた影響  
山口の単著『ハリウッド映画と英語の変化』(2024)は、このテーマについて 5 年間にわたって行った研究の総括である。書き下ろし原稿のほか研究期間のあいだに発表した論文を、加筆改稿して本書のなかに再録したところもある。この主題で書かれたまとまった量の論稿としては、初めてのもので、学術的意義がある。

- (2) ニュース番組がアメリカ英語の普及と英語の多様性の認識に与えた影響

このサブテーマについてはオンライン研究会などでの議論の話題とはしたが、研究成果としてまとまった論稿を得ることができなかった。

( 3 ) 映画に描かれる世界諸英語(World Englishes, WE)

『World Englishes 入門』に「韓国の英語」の章を執筆した小林、「中華世界の英語」「カリブ海の英語」の章を執筆した山口は、映画に描かれるそれぞれの国・地域の英語について記述・分析を行った。

渡辺はニュージーランド映画に描かれるニュージーランド英語について学会発表を行い論稿を著した。

( 4 ) 英語拡大圏 ( Expanding Circle ) におけるアメリカ英語の普及と英語の多様性の認識

渡辺はと特に日本におけるアメリカ英語や英語の多様性に対する認識に関する研究を進め、学会発表や論文の形で公にした。

本研究の初年度 2019 年度末から始まったコロナ禍により、当初予想していたペースで研究を進めることが出来なかった。特に人の往来が大きく制限されていた 2020 年度から 2022 年度前半までは、シンポジウムを開催することもできず、オンライン研究会を行うにとどまった。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計16件（うち査読付論文 12件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 山口美知代	4. 巻 31・32
2. 論文標題 映画『カリブソ・ローズ』上映会とシンポジウム「カリブ海の絵文化と英語」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 コルスコピア	6. 最初と最後の頁 63, 75
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山口美知代	4. 巻 17
2. 論文標題 『ウエスト・サイド・ストーリー』（2021）の言語	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 現代英語談話会論集	6. 最初と最後の頁 21, 25
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yutai Watanabe	4. 巻 43
2. 論文標題 English as an international language and Japanese preference for English varieties.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Cultures and Communication	6. 最初と最後の頁 31,40
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.57300/cac.43.1_31	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yutai Watanabe	4. 巻 8
2. 論文標題 The pursuit of perfect English: Japanese ideology regarding L1-like pronunciation.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 GIS Journal	6. 最初と最後の頁 86,106
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yutai Watanabe	4. 巻 42
2. 論文標題 北欧の英語：国際英語の範例として	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 異文化の諸相	6. 最初と最後の頁 49-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.57300/cac.42.1_49	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山口美知代	4. 巻 17
2. 論文標題 『ウエスト・サイド・ストーリー』(2021)の言語	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 現代英語談話会	6. 最初と最後の頁 21 - 25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yutai Watanabe	4. 巻 23
2. 論文標題 English in Scandinavia: A role model for EIL-minded learners in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本英語文化学会第23回全国大会予稿集	6. 最初と最後の頁 24-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 後藤篤	4. 巻 72
2. 論文標題 銀幕の怪物 Stanley KubrickのLolitaとアダプテーションのリスク	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 京都府立大学学術報告人文	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山口美知代	4. 巻 72
2. 論文標題 プロダクション・コードと映画の英語『風と共に去りぬ』のdamn	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 京都府立大学学術報告人文	6. 最初と最後の頁 141-151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山口美知代	4. 巻 16
2. 論文標題 タブー語とアメリカ映画の英語『7月4日に生まれて』を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 現代英語談話会論集	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yutai Watanabe, Megumi Kobayashi, Michiyo Yamaguchi	4. 巻 1
2. 論文標題 East Asian attitudes towards L2-accented English: A comparison based on a unified questionnaire	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Program and Abstracts, 45th National Conference, The Japanese Association for Asian Englishes	6. 最初と最後の頁 12 - 17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山口美知代	4. 巻 1
2. 論文標題 西半球で3番目に大きな英語話者の国、ジャマイカ 旧英領カリブ諸国の英語の位置づけ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 科学研究費研究成果報告書	6. 最初と最後の頁 88 - 99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山口美知代	4. 巻 18
2. 論文標題 アメリカ南部を描いた映画の英語 オーセンティシティと「わざとらしさ」の間	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 現代英語談話会論集	6. 最初と最後の頁 29, 46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山口美知代	4. 巻 75
2. 論文標題 1930年代のギャング映画の英語: 『民衆の敵』と『暗黒街の顔役』	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 京都府立大学学術報告・人文	6. 最初と最後の頁 1,8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yutai Watanabe	4. 巻 9
2. 論文標題 Accent authenticity: New Zealand English in films	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 JIS Journal	6. 最初と最後の頁 1.14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yutai Watanabe	4. 巻 44
2. 論文標題 The indexicality of Japanese-accented English among Japanese ELF users. Cultures and Communication	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Cultures and Communication	6. 最初と最後の頁 99,108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計19件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 Yutai Watanabe
2. 発表標題 American and British accents in New Zealand films
3. 学会等名 日本英語文化学会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Yutai Watanabe
2. 発表標題 New Zealand English and non-New Zealand film actors
3. 学会等名 日本ニュージーランド学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yutai Watanabe
2. 発表標題 The indexicality of Japanese-accented English: L1 and L2 English speakers' perceptions.
3. 学会等名 日本英語文化学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小林めぐみ
2. 発表標題 World Englishesへの理解を促す映画利用
3. 学会等名 言語教育エキスポ2024
4. 発表年 2024年



1. 発表者名 Yutai Watanabe
2. 発表標題 Behind Japanese ELF users' preference for Inner Circle English.
3. 学会等名 日本英語文化学会第25回全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yutai Watanabe
2. 発表標題 The indexicality of slogans on local souvenirs.
3. 学会等名 日本英語文化学会第152回例会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 後藤篤
2. 発表標題 『カリブソ・ローズ』をめぐるコール&レスポンス
3. 学会等名 京都府立大学英文学会シンポジウム
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山口美知代
2. 発表標題 カリブ海の英語と文化
3. 学会等名 京都府立大学英文学会シンポジウム
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Megumi Kobayashi
2. 発表標題 Implementing online English conversation lessons in a Japanese university: Issues from World Englishes perspectives and pedagogical concerns
3. 学会等名 19th AsiaTEFL Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡辺宥泰
2. 発表標題 国際英語論の視点から大学英語教育を再考する
3. 学会等名 日本英語文化学会第149回例会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Megumi Kobayashi, Yutai Watanabe, Michiyo Yamaguchi
2. 発表標題 Advanced L2 Speakers' Attitudes towards Their Own Variety of English: A Comparative Study in East Asia
3. 学会等名 Asia TEFL 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yutai Watanabe
2. 発表標題 An ELF model and its limitations in Japanese ELT.
3. 学会等名 日本英語文化学会第146回例会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yutai Watanabe, Megumi Kobayashi, Michiyo Yamaguchi
2. 発表標題 East Asian attitudes towards L2-accented English: A comparison based on a unified questionnaire.
3. 学会等名 日本「アジア英語」学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山口美知代
2. 発表標題 カリブ英語の研究史的 위치づけ   クレオール語と世界諸英語モデル
3. 学会等名 日本西洋史学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡辺宥泰、中井延美
2. 発表標題 英語民間検定試験を巡る諸問題について
3. 学会等名 日本英語文化学会第144回例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡辺宥泰
2. 発表標題 American and British accents in New Zealand films
3. 学会等名 日本英語文化学会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 渡辺宥泰
2. 発表標題 New Zealand English and non-New Zealand film actors
3. 学会等名 日本ニュージーランド学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 渡辺宥泰
2. 発表標題 The indexicality of Japanese-accented English: L1 and L2 English speakers' perceptions
3. 学会等名 日本英語文化学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小林めぐみ
2. 発表標題 World Englishesへの理解を促す映画利用
3. 学会等名 言語教育エキスポ2024
4. 発表年 2024年

〔図書〕 計11件

1. 著者名 大石晴美編（山口美知代、小林めぐみ）	4. 発行年 2023年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 240
3. 書名 World Englishes入門 グローバルな英語世界への招待	

1. 著者名 山口美知代	4. 発行年 2024年
2. 出版社 開拓社	5. 総ページ数 208
3. 書名 ハリウッド映画と英語の変化	

1. 著者名 川分圭子・堀内真由美編（山口美知代）	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 388
3. 書名 カリブ海の旧イギリス領を知るための60章	

1. 著者名 山口美知代	4. 発行年 2024年
2. 出版社 開拓社	5. 総ページ数 193
3. 書名 ハリウッド映画と英語の変化	

1. 著者名 （共著）山口美知代、小林めぐみ	4. 発行年 2023年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 240
3. 書名 グローバルな英語世界への招待	

1. 著者名 (共著) 山口美知代	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 388
3. 書名 カリブ海の旧イギリス領を知るための60章	

1. 著者名 庄司博司	4. 発行年 2022年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 404
3. 書名 世界の公用語事典	

1. 著者名 Shawn Loewen	4. 発行年 2021年
2. 出版社 開拓社	5. 総ページ数 352
3. 書名 学びの場での第二言語習得論	

1. 著者名 小林めぐみ・藤田玲子・Peter J. Collins.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 金星堂	5. 総ページ数 104
3. 書名 Inspiring Voices: 15 Interviews from NHK Direct Talk (NHK Direct Talk 世界を変える声を聞く).	

1. 著者名 酒井志延、小林めぐみ、鳥山淳子、土屋佳雅里	4. 発行年 2019年
2. 出版社 くろしお出版	5. 総ページ数 172
3. 書名 映画で学ぶ英語の世界	

1. 著者名 現代英語談話会編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 大阪教育図書	5. 総ページ数 197
3. 書名 英語のエッセンス	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小林 めぐみ (Kobayashi Megumi)  (50339587)	成蹊大学・経済学部・教授  (32629)	
研究分担者	渡辺 宥泰 (Watanabe Yutai)  (60240529)	法政大学・グローバル教養学部・教授  (32675)	
研究分担者	出口 菜摘 (Deguchi Natsumi)  (80516138)	京都府立大学・文学部・教授  (24302)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	後藤 篤  (Goto Atsushi)  (70761980)	京都府立大学・文学部・准教授    (24302)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関